

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/8)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	モリサキ ミナコ 森崎 美奈子
学歴	昭和41年 3月 東京女子大学文理学部心理学科 卒業				
学位					
専門分野	労働安全衛生学、産業精神保健学、産業臨床心理学、臨床心理学、産業カウンセリング、精神分析学				
専門資格	臨床心理士 (No. 1643)、産業カウンセラー、心理相談担当者、産業精神保健専門職				
所属学会	昭和41年 4月 日本精神分析学会 昭和57年 4月 日本心理臨床学会 昭和60年 4月 日本産業衛生学会 平成元年 4月 健康管理研究協議会 平成 5年 7月 日本産業精神保健学会 平成 8年 7月 日本産業ストレス学会 平成16年 7月 日本うつ病学会 平成19年 4月 日本産業衛生学会産業心理技術研究会 日本産業衛生学会精神衛生研究会 平成20年 4月 千葉県産業メンタルヘルス研究会 平成22年 4月 全国衛生連合会メンタルヘルス専門委員会委員 平成26年10月 産業心理職育成研究会 (委員)				
受賞	平成14年 5月 平成14年度 緑十字賞 (労働衛生部門) 受賞				
担当 授業科目	学 部 産業カウンセリング、初年次演習、臨床心理学基礎演習【対人社会コース】、臨床心理学研究 法演習 【対人社会コース】 ----- 大学院 産業臨床心理学特論B				
論文指導					
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	産業カウンセリング	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	約80名	
	授業の概要： 講義だけでなく、グループ討議による事例検討を実施。実践的な産業精神保健学を体得してもらう。 教育活動の振り返り 1 教育活動の成果： 傍観者的に授業に参加することが出来ない状況を設定し、学生自身が問題意識を内省する体験となった。 今後の課題： グループ討議に参加は出来るが、それをプレゼンすることが出来ない学生がかなり見られた。自己表現力の育成。積極的なプレゼン力の習得。				
科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数		
臨床心理学基礎演習【対人社会コース】	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	約30名		
2 授業の概要： 臨床心理学の中で発展したさまざまな対人援助技術を、学生にも吸収しやすい形にアレンジして、系統的に指導していく。特に、コーチングやグループワークなど、社会人になってさまざまな職場で活かすことのできるスキルの指導に力を入れる。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/8)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">FD 活動・教育実績 つづき</p>	<p>教育活動の振り返り 教育活動の成果： 毎回学生の振り返りを通して学習の進展度を把握。 2 この授業は、コースを担当する各教員（川畑、森谷、森崎）が同じ内容のものを、合同、並行で行なうことによって、3人の教員の専門性が学生に提供・教示できる機会となった。 今後の課題： 本コースを、次年度の研究法演習へ結び付けていくこと。</p> <hr/> <p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 を記入してください。 特になし。</p> <hr/> <p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等を記入してください。 平成26年3月-平成27年2月 京都文教大学大学院臨床心理学研究科院生対象：産業精神保健活動 関連のワークショップと合宿開催</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 職場のメンタルヘルス 労務管理と職場不適合現象について メンタルヘルス不調労働者の休職・復職支援のあり方</p> <p>2. 中小企業に対する労働安全衛生活動支援活動 メンタルヘルス施策を中核として 長引く不況下における労働者の心身両面の向上</p> <p>3. 産業メンタルヘルス研究所業務推進 職場のメンタルヘルスに関する臨床心理専門職の養成 産業心理臨床家養成プログラムの検証 産業心理技術の体系化</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成二十六 (2014) 年度の研究活動の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京産業保健推進センター：共同調査研究（平成23年～継続中） 【内容】企業の産業精神保健活動推進の実態と産業保健スタッフの育成 ・ 日本産業精神保健学会：精神疾患の業務関連性に関する検討委員会（平成12年度～継続中） ・ 日本うつ病学会 総務委員 & 広報委員：うつ病に対する誤解偏見への対応、マスコミ対応 ・ 日本うつ病学会 多職種連携委員（旧コメディカル委員）：年次大会のシンポジウム企画・実施によって、うつ病対策のスキルの発信と啓発活動 ・ 日本産業衛生学会 産業心理技術研究会：年次大会シンポジウムの企画と司会、産業保健スタッフに対して、産業現場で役立つ臨床心理学の知識とスキルを発信 ・ 千葉県産業メンタルヘルス研究会：千葉県下の企業へのメンタルヘルス活動推進の援助 ・ 健康管理研究協議会：地域職域境域場面での健康管理の啓発活動 ・ 東京経協相談室：中小企業の人事労務担当者への相談・支援 セミナー実施：メンタルヘルスミニセミナー ・ 産業心理職育成研究会：事例検討会（3回実施）を通じて、産業心理臨床の必須カリキュラム検討 ・ 日本心理臨床学 第33回秋季大会会：自主シンポ（コメンテーター）、口頭発表（事例研究指定討論） ・ 第87回日本産業衛生学会 産業心理技術研究会 シンポジウム座長 ・ 第87回日本産業衛生学会 精神衛生研究会 ・ 健康管理研究協議会 ・ 第21回日本産業精神保健学会：実行委員、シンポジスト、口頭発表座長） ・ 第22回日本産業ストレス学会：座長 ・ 第11回日本うつ病学会：多職種連携委員会企画シンポ ・ うつ病リワーク研究会：シンポジスト

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/8)

<p>平成二十六(2014)年度の 研究活動の概要 つぎ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床心理士会産業組織委員会派遣事業：滋賀県、愛媛県、沖縄県での講演 ・ 日本臨床心理士会産業組織委員会研修事業：座長、講演、セミナー ・ 京都経営者協会、京都府関係団体、複素機関、介護機関、民間企業、労働組合等でのメンタルヘルス活動推進体制構築の指導と講演 ・ 某私立学校いじめ対策委員 ・ 「雇用管理サポート事業」雇用管理サポーターの協力依頼：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（平成26年4月-平成28年3月）
<p>平成二十六(2014)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>1. 「第 部 13 発達障害とストレス」、共著（当該部分を担当）、平成27年3月、創元社、『ストレス学ハンドブック』（pp.319-331）</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理研究協議会 幹事「平5.4より」 ・ 日本産業精神保健学会 常任理事「平5.7より」 ・ 日本産業ストレス学会 理事「平9.7より」 ・ 日本産業ストレス学会 編集委員「平9.7より」 ・ 日本産業精神保健学会 精神疾患の業務関連性に関する検討委員会委員「平12.4より」 ・ 日本心理臨床学会 職能委員「平16.4より」 ・ 日本産業衛生学会産業心理技術研究会企画シンポジウム（企画）「平18.5より毎年開催」 ・ 日本産業衛生学会精神衛生研究会 世話人「平18.5より」 ・ 日本産業衛生学会産業心理技術研究会 代表世話人「平19.5より」 ・ 千葉県産業メンタルヘルス研究会 理事「平20.4より」 ・ 日本臨床心理士会 産業領域委員会委員 自主シンポ（指定討論者、話題提供者）職能研究会実施、産業保健や産業臨床心理の知識の普及活動「平14.10より」 ・ 日本うつ病学会多職種連携委員会（旧コメディカル委員会）企画シンポジウム「平20.7より毎年開催」 ・ 日本うつ病学会 多職種連携委員（旧コメディカル委員）「平24.7より」 <p>平成26年 5月 日本産業衛生学会産業心理技術研究会：司会、於：岡山コンベンションセンター</p> <p>平成26年 7月 1. 第21回日本産業精神保健学会：実行委員、シンポジスト、口頭発表座長、於：ウェルとばた（北九州市） 2. 第11回日本うつ病学会総会：多職種連携委員会企画シンポ、於：広島国際会議場</p> <p>平成26年 9月 日本臨床心理士会産業領域委員会事業 滋賀県臨床心理士会産業領域研究会講師（共同）「産業臨床の経験についての講演と討議」、於：草津市立市民交流プラザ</p> <p>平成26年10月 1. シンポジウム「組織を意識した臨牀的関わり ～自身の立ち位置との関連～」ディスカッサー、日本臨床心理士会第9回産業心理臨床専門研修会 企画分科会1企画司会、於：東京ビッグサイト 2. 日本臨床心理士会産業組織委員会派遣事業：愛媛県臨床心理士会で講演 3. 日本臨床心理士会産業組織委員会研修事業：座長、講演 於：東京ビックサイト</p> <p>平成26年11月 第22回日本産業ストレス学会：座長、於：大阪国際交流センター</p> <p>平成27年 2月 日本臨床心理士会産業組織委員会派遣事業：沖縄県臨床心理士会で講演</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成26年度 東京産業保健推進センター 共同調査研究「企業の産業精神保健活動推進の実態と産業保健スタッフの育成」(研究代表者：杏林大学・保健学部・講師 松井知子) 研究分担者「平22より」</p> <p>(学内活動)</p> <p>産業メンタルヘルス研究所長、自己点検・評価委員会委員、産業メンタルヘルス研究所運営会議委員</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/8)

平成二一六 (2014) 年度の社会における活動

(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)

平成26年 4月 独立行政法人労働者健康福祉機構東京産業保健推進センター & 千葉産業保健推進連絡事務所 (旧 千葉産業保健推進センター) & メンタルヘルス支援センター 基幹相談員

(NPO法人等の団体への参画)

平成26年 4月 1. 東京経営者協会労務相談室 相談員
2. 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員

(自治体や企業における研修等の講師)

平成26年度 (平成26年4月-平成27年3月)

1. 相談・メンタルヘルス関連の研修 (毎月3回) 対象: 人事労務担当・産業医産業保健スタッフ等、於: 独立行政法人労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター & 千葉産業保健推進センター
2. 三菱マテリアル、宇部興産における管理職研修と新入社員教育の展開

平成26年 7月 「組合員のためのセルフケア対策 ~メンタルヘルスの予防・なぜメンタルヘルスになるのか・対処方法等~」電機連合傘下労組

- 平成27年 2月
1. 「高ストレス者への支援の在り方」、メンタルヘルス事後指導研修会 (保健スタッフ) 公益社団法人全国労働衛生団体連合会、於: 三田NNホール (東京)
 2. 「メンタルヘルス支援活動事例検討」コメンテーター、公益社団法人全国労働衛生団体連合会、於: 三田NNホール (東京)

(その他)

平成26年度 電機連合ハートフルセンター運営委員: 電機連合 (電機・電子・情報関連産業が結集した半世紀の歴史を誇る組合員60万人の産業別労働組合) 傘下の従業員と家族のメンタルヘルス体制の推進と運営「平19より」

平成26年6月-平成27年3月

京都文教大学 産業メンタルヘルス研究所、「産業心理臨床家養成プログラム」策定と育成プログラム講師、於: キャンパスプラザ京都 京都文教大学サテライト教室

平成26年1月~12月 三菱マテリアル(株) 四日市工場爆発事故対応

平成二一 (2009~2013) 年度の主な研究成果等

(著書)

1. 第4章サポート・医療環境「企業のメンタルヘルス活動とうつ病対策 早期発見から介入まで」、単著、平成22年3月、医歯薬出版株式会社、樋口輝彦編、別冊・医学のあゆみ (pp.1011-1016)
2. 「基本管理業務からメンタルヘルス」、単著、平成22年3月、日本医事新報社、日本産業衛生学会 関東産業医部会編、産業医ガイド (pp.476-485)
3. 「ストレスマネジメント・ハンドブック2 あなたにも出来るストレス解消法」、単編著、平成22年3月、社団法人全国労働衛生団体連合会、23p
4. 第 部治療 第2章「心理教育 (2) 職場の上司に対する啓発教育」、単著、平成22年6月、金剛出版、治療者のための女性のうつ病ガイドブック (pp.209-216)
5. 「中小企業でも出来るメンタルヘルス対策」、単著、平成23年5月、日本経団連事業サービス、職務研究279号 (pp.37-44)
6. 「早期発見・早期対応(治療)のために整えるべき条件」、単著、平成24年3月、Pharma Medica Vol.30 №3 特集: うつ病をめぐる最近の話題 (pp.19-23)
7. 「相談活動・心理カウンセリングの実際」、単著、平成24年12月、中央災害防止協会、日本産業ストレス学会編、『産業ストレスメンタルヘルス 最先端の研究から対策の実践まで』 (pp.169-178)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/8)

(著書 つづき)

8. 「スーパーヴィジョンの意義と課題」, 共著、平成25年1月、ナカニシヤ出版、渡邊忠他編、『いま、産業カウンセラーに求められる役割と実践力』(pp.103-112)
9. 「若年性認知症ハンドブック 職場における若年性認知症の人への支援のために (改訂)」, 共著、平成25年1月、東京都福祉保健局、58p
10. 「リレーコラム : 私と産業ストレス: 職域へ...そして現在」, 単著、平成25年1月、日本産業ストレス学会創設20周年記念 産業ストレス研究 別冊 (p.31)
11. 「第5章 第5節 第2項 職場(管理職)・健康管理部門・人事部門の三位一体支援システムの構築」, 共著(当該項担当)、平成25年4月、技術情報協会、『研究者・技術者の「うつ病」対策 ~不調者を出さない仕組みづくりと日常の注意点~』(pp.334-338)
12. 「職場のメンタルヘルス入門編 発達障害と職場適応」, 単著、平成25年4月、日本産業ストレス学会 産業ストレス研究第20巻第2号 (pp.179-181)
13. 「若年者の認知症 若年性アルツハイマー病や前頭側頭型認知症などへの支援」, 単著、平成25年5月、日本産業精神保健学会 産業精神保健vol.21 2 (pp.77-81)
14. 「ここに効くレシピ 部下のやる気を引き出す上司 社会人基礎力の育成」, 単著、平成25年10月、東京経営者協会会報 ぱとろなとうきょう2014年 76秋季号 (p.16)
15. 「臨床心理職から見た日本産業精神保健学会について」, 単著、平成25年12月、日本産業精神保健学会 産業精神保健vol.21 4 (p.279)
16. 「現代社会とうつ病(33) 企業のうつ病等メンタルヘルス不調対策の現状」, 単著、平成26年1月、最新医学社、最新醫學69巻1号 (pp.118-123)

(論文)

1. 「解説 職場復帰の際に発生する問題、その対応方法など」, 単著、平成21年7月、中央災害防止協会、心とからだのオアシス2009年夏号 特集: 職場復帰支援への取り組み (pp.6-9)
2. 「産業臨床心理学入門 産業心理臨床の理論と技法 「相談者の援助のために 精神分析理論を知る」」, 単著、平成21年12月、産業看護 2010年1月号 (pp.76-80)
3. 「より良い職場復帰をめざして」, 単著、平成22年4月、保健文化社、健康管理Vol.667 (pp.5-12)
4. 「産業分野におけるこれからの心理臨床家に求めたいこと 産業精神保健(職場メンタルヘルス)活動と心理職の役割」, 単著、平成22年4月、上智大学臨床心理研究第32巻 (pp.7-11)
5. 「高機能広汎性発達障害の就労の現状 職場での広汎性発達生涯対応事例」, 共著、平成23年2月、産業精神保健19巻1号 特集: 職域における発達障害 (pp.24-31)
6. 「メンタルヘルス支援活動と心理職(カウンセラー)の役割・機能」, 共著、平成23年11月、新興医学出版社、日本精神神経学会精神保健に関する委員会編、医療従事者のための産業精神保健、(pp.24-27)
7. 「早期発見・早期対応(治療)のために整えるべき条件」, 単著、平成24年3月、Pharma Medica Vol.30 No.3 特集: うつ病をめぐる最近の話題 (pp.19-23)
8. 「職場と健康 職場における若年性認知症の支援1」, 単著、平成24年11月、全国社会保険労務士会連合会 月刊社労士 (p.35)
9. 「私と産業ストレス 職域へ...そして現在」, 単著、平成24年11月、日本産業ストレス学会 産業ストレス研究vol.19 4 (p.401)
10. 「職場と健康 職場における若年性認知症の支援2」, 単著、平成24年12月、全国社会保険労務士会連合会 月刊社労士 (p.63)
11. 「職場のメンタルヘルス メンタルヘルス不調者を未然に防ぐ上司の目配り、気配り、声かけ」, 単著、平成24年12月、株式会社技術情報協会 隔月間メンタルヘルスマネジメント2012年12月号 (pp.33-37)
12. 「リレーコラム: 私と産業ストレス」, 単著、平成25年1月、日本産業ストレス学会編集委員会日本産業ストレス学会20周年記念誌 (pp.31)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/8)

(学会報告、学会活動)

学会活動:

- 平成 5年 4月 健康管理研究協議会 幹事「現在に至る」
- 平成 5年 7月 日本産業精神保健学会 常任理事「現在に至る」
- 平成 9年 7月 日本産業ストレス学会 理事「現在に至る」
日本産業ストレス学会 編集委員「現在に至る」
- 平成12年 4月 日本産業精神保健学会 精神疾患の業務関連性に関する検討委員会委員「現在に至る」
- 平成14年10月 日本臨床心理士会 産業領域委員会委員 (指定討論者、話題提供者) 職能研究会実施「現在に至る」
- 平成16年 4月 日本心理臨床学会 職能委員 (委員会企画シンポジウム、調査研究)「現在に至る」
- 平成16年 7月 日本うつ病学会 理事「平24.7まで」
日本うつ病学会 コメディカル委員会委員長「平24.7まで」
- 平成18年 5月 日本産業衛生学会産業心理技術研究会企画シンポジウム (企画)「以降毎年開催」
日本産業衛生学会精神衛生研究会 世話人「現在に至る」
- 平成19年 5月 日本産業衛生学会産業心理技術研究会 代表世話人「現在に至る」
- 平成20年 4月 千葉県産業メンタルヘルス研究会 理事「現在に至る」
- 平成20年 7月 日本うつ病学会コメディカル委員会企画シンポジウム「以降毎年開催」
- 平成22年 2月 日本産業衛生学会第51回産業衛生研究会大会長
- 平成24年 7月 日本うつ病学会 コメディカル委員「現在に至る」
- 平成25年 1月 EAPアジア太平洋円卓会議 第10回東京大会のExecutive Steering Committee Member「平25.6まで」

1. 「産業領域におけるリワークプログラムの使い方：産業保健現場での課題とリワークプログラムの必要性に関して ～産業保健スタッフの立場から」シンポジスト、平成24年4月、第5回うつ病リワーク研究会年次研究会、東医会館 (東京)
2. 「実践者にとっての「研究」とは」シンポジスト、平成24年11月、日本産業カウンセリング学会第17回大会、跡見学園女子大学 (文京キャンパス)
3. 日本産業衛生学会産業心理技術研究会企画シンポジウム「タッピングタッチ」企画・司会、平成24年5月、第85回日本産業衛生学会、名古屋国際会議場
4. コメディカル委員会企画シンポジウム「コメディカルの治療的役割 多職種の連携と課題」企画、司会、平成24年7月、第9回日本うつ病学会総会、京王プラザホテル
5. シンポジウム2「震災後の産業現場での中長期的メンタルヘルス支援」企画・座長、平成25年1月、第20回日本産業ストレス学会 (実行委員)、市川市文化会館 (千葉県)
6. 記念講演「人の心と人材マネジメント」守島基博 (一橋大学大学院教授) の司会、平成25年1月、日本産業ストレス学会20周年記念会 (実行委員)、東京ステーションコンファレンス
7. 講演「産業メンタルヘルスの現状」、単独、平成25年1月、京都府臨床心理士会産業領域研修会、キャンパスプラザ京都
8. ワークショップ「ACT (Acceptance and Commitment Therapy)」司会、平成25年5月、日本産業衛生学会産業心理技術研究会、愛媛県県民文化会館
9. 第20回記念企画「日本産業精神保健学会の歴史と展望」シンポジスト、平成25年8月、第20回日本産業精神保健学会、東京工科大学 (蒲田キャンパス)
10. 自主シンポ「医療現場におけるメンタルヘルス その2 技法と工夫について / 心理職自身のメンタルヘルス」指定討論者、平成25年8月、日本心理臨床学会第32回秋季大会、パシフィコ横浜
11. 「産業臨床の経験についての講演と討議」講師、共同、平成25年9月、日本臨床心理士会産業領域委員会事業 滋賀県臨床心理士会産業領域研究会、草津市立市民交流プラザ
12. 講演「職場で見られる発達障害」演者、平成25年9月、ミニシンポジウム「成人の発達障害とリハビリテーション ～職場で彼らを活かすには～」、メディカルケア虎ノ門

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/8)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(学会報告、学会活動 つづき)</p> <p>13. シンポジウム「組織を意識した臨床的関わり ～自身の立ち位置との関連～」ディスカッサー、平成25年10月、日本臨床心理士会第8回産業心理臨床専門研修会 企画分科会1企画シンポ、東京ビッグサイト</p> <p>14. 講演「産学領域で心理職に求められていること」、単独、平成26年1月、日本臨床心理士資格認定協会研修会、幕張メッセ</p> <p>15. 講演「産学領域で心理職が職能するために求められること」、単独、平成26年3月、日本臨床心理士会産業領域研修会、東京理科大学森戸会館</p> <p>報告書：</p> <p>1. 「平成22年度 東京産業保健調査研究報告書」、共著、平成23年3月、東京産業保健推進センター</p> <p>2. 「東日本大震災の被災労働者に対する緊急健康診断の実施結果報告書」、共著、平成24年7月、公益社団法人全国労働衛生団体連合会 (全衛連) メンタルヘルス専門委員会</p> <p>その他：</p> <p>1. 「パーソナリティ障害 あなたの身近な困った人たち」、単著、平成22年冬号、東京経営者協会、東京経協会報「ぱとろな：こころに効くレシピ」61号冬号 (p.17)</p> <p>2. 「被災社員の心のケア：企業経営者・人事労務スタッフに求められること」、単著、平成24年春号、東京経営者協会、東京経協会報「ぱとろな：こころに効くレシピ」69号冬号 (p.18)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成22年度-現在に至る 東京産業保健推進センター 共同調査研究「企業の産業精神保健活動推進の実態と産業保健スタッフの育成」(研究代表者：杏林大学・衛生学公衆衛生学教室・教授 角田透) 研究分担者</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成24年10月 産業メンタルヘルス研究所長「現在に至る」 産業メンタルヘルス研究所運営会議委員「現在に至る」</p> <p>平成25年 4月 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成11年 4月 1. 独立行政法人労働者健康福祉機構東京産業保健推進センター 基幹相談員(委嘱) 「平25.3まで」 2. 独立行政法人労働者健康福祉機構千葉産業保健推進センター メンタルヘルス相談員(委嘱)「平25.3まで」</p> <p>平成25年 4月 独立行政法人労働者健康福祉機構東京産業保健推進センター & 千葉産業保健推進連絡事務所(旧 千葉産業保健推進センター) & メンタルヘルス支援センター 基幹相談員</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成24年1月・2月 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員としてメンタルヘルス事後指導研修会(保健スタッフ) (1月)・(2月)</p> <p>平成24年 9月 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 & 千葉県長生健康福祉センター「自殺対策相談支援者向けの研修：面談の仕方」</p> <p>平成25年 2月 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員としてメンタルヘルス事後指導研修会 (保健スタッフ)</p> <p>平成25年度 相談・メンタルヘルス関連の研修(毎月3回) 対象：人事労務担当・産業医産業保健スタッフ等、於：独立行政法人労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター & 千葉産業保健推進センター</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/8)

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の社会における活動	(自治体や企業における研修等の講師 つづき)	
	平成25年 5月	1. メンタルヘルスマニセミナー、対象：中小企業の人事労務担当者（相談・支援）、東京経営者協会、於：東京経営者協会 2. 「打たれ強い人材になる～結果が求められる時代に必要なストレス耐性～」、富士通テン労働組合、於：富士通テン労働会館
	平成25年 8月	「労組に求められるメンタルヘルス活動」、ダイハツ労働組合、於：ダイハツ労働組合会館
	平成25年 9月	「メンタルヘルス学習会～労組に求められるメンタルヘルス活動～」、JCM滋賀労働組合、於：アトレー南草津
	平成25年11月	「組合員のためのセルフケア対策～メンタルヘルスの予防・なぜメンタルヘルスになるのか・対処方法等～」、パナソニックフォト・ライティング労働組合、於：パナソニック草津地区事業所
	平成26年 1月	1. 「高ストレス者への支援の在り方」、メンタルヘルス事後指導研修会（保健スタッフ）、公益社団法人全国労働衛生団体連合会、於：三田NNホール（東京） 2. 「メンタルヘルス支援活動事例検討」コメンテーター、公益社団法人全国労働衛生団体連合会、於：三田NNホール（東京）
	(その他)	
	平成19年	電機連合（前述）傘下の従業員と家族のメンタルヘルス体制の推進と運営 「現在に至る」
	平成25年10月・12月・平成26年3月	京都文教大学 産業メンタルヘルス研究所、「産業心理臨床家養成プログラム」策定と育成プログラム講師、於：キャンパスプラザ京都 京都文教大学サテライト教室